



ぽっかぽか

りすぐみ



早いもので、今年も残すところ後一か月となりました！長久保公園の木々も、赤や黄色の落ち葉もすっかり落ちてしまい冬支度という感じです。子ども達は色々な落ち葉や花びらを拾ったり、元気いっぱい公園を走ったり、斜面を登り降りしたり楽しそうです。先日、りすぐみのお友だちが聞こえるよというように耳に手を当てて、小鳥の鳴き声に耳を澄ましていました。「ことりさんたちの声、聞こえるね」と話しかけると他の子どもたちも一緒に小鳥の声に耳を傾けて「小鳥さんいた！」と指を指して一緒に見つけました。子供たちはあちこちにアンテナを張って五感を使い、日々遊んでいます！その気持ちを大切に寒さに負けず、過ごしていきたいと思います。



♪りすぐみでうたっているわらべうたをご紹介します♪

お部屋ではよくわらべ歌や手遊び、季節の歌などを歌って楽しんでいます！りすぐみのみんなはわらべ歌が大好きです！！今回は、りすぐみのみんなが大好きな「うまはとしとし」と「うえからしたから」をご紹介します。

大人と子どもがスキンシップをしながら手足を使って遊ぶわらべ歌、【あそばせうた】です！

遊び方の基本は、大人と子どもが1対1で、大人が子どもに対してしぐさや動作をすることです。

子どもと向かい合うときは顔を見て目を合わせ、同じ方向を向いて行うときは、子どもの反応を観ることを意識すると一緒に歌う楽しさが味わえます♪

うまはとしとし



保育園では、大人の膝に子どものを乗せて揺らしながら歌っていますが、飛行機（大人が仰向けになり、膝を曲げ、足の裏に子どものお腹をのせて手を握る。）で子どもを軽く上下に揺らしながら歌っても楽しいです♪♪

保育園では大きめのハンカチを使って保育園歌のリズムに合わせながら上下に振りながら歌います。2、3回繰り返して歌ったり、最後に上に布を投げたりして、楽しめます♪

うえからしたから



どうしてわらべ歌を歌っているの？

わらべ歌は、子どもたちが遊びや生活の中で昔から歌い継がれてきた子どもたちの為のうた遊びです。子どもたちが見た物や感じたことが歌に込められています。メロディーも簡単に覚えやすく、自然に歌うことができるように作られています。わらべ歌は歌いながら大人と子どもがスキンシップをとることで安心感と絆を深めることができます。また、言葉や数を覚えることにもつながり、一緒に体を動かすことでリズム感を養ったり日常生活の中で使う言葉が出てくるので、遊びながら様々な言葉を覚えることもできます。これからも色々なわらべ歌を子どもたちと一緒に楽しみながら、保護者の方にも紹介していきたいと思いますのでどうぞお楽しみに！

